

(学校番号098) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上里小学校】

4月22日		
目標・策		
知識・技能	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、学力向上をはかる。 令和4年度全国学力・学習状況調査(国語)で、令和3年度より自校の平均正答率を向上させる。	⇒ タブレットを活用し、「ドリルパーク」の学習履歴を使って、児童が自分の学習内容の理解を把握し、学習の進め方を自ら調整していくことができるように個に応じた支援を行う。
思考・判断・表現	令和4年度全国学力・学習状況調査(国語)「思考力・判断力・表現力」で令和3年度より自校の平均正答率を向上させる。	⇒ 語彙表「ことばのたね」を活用し、語彙力・表現力を高める。 思考を可視化して、表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和3年度の値より向上させた値にする。	⇒ 児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。 家庭学習のリーフレットを配布し、月末に振り返りを行い、内容や時間を改善する。

8月22日		
中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
知識・技能	変更なし	⇒ タブレットを活用し、「ドリルパーク」の学習履歴を使って、児童が自分の学習内容の理解を把握し、学習の進め方を自ら調整していくことができるように個に応じた支援を行う。
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 語彙表「ことばのたね」を活用し、語彙力・表現力を高める。 思考を可視化して、表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。 家庭学習のリーフレットを配布し、月末に振り返りを行い、内容や時間を改善する。

8月22日		
全国学力・学習状況調査結果	国語： 算数： 理科：	
全国学力・学習状況調査結果・分析		
<p>R4年度全国学力・学習状況調査では、国語の平均正答率が前年度と比較して大きく上昇した。国語については、漢字の学習に課題がみられるので、繰り返し学習を行うよう改善していく。算数については、「図形、変化と関係」の問題で全国平均正答率とほぼ同じ数値となったが、昨年度と同様、短答式の問題で課題がみられた。また、理科については全国の平均正答率とほぼ同様の数値となった。R3年度の自校結果と比較しても、全ての教科、ほぼすべての項目で上回った。</p> <p>R4年度全国学力・学習状況調査の学習指導要領の内容に関しては「思考力・判断力・表現力」において、特に国語「読むこと」「我が国の言語文化に関する事項」では、市の平均正答率を上回った。また、「話すこと聞くこと」については全国の正答率を上回った。また、算数「データの活用」については、複合問題に課題がみられ、問題の趣旨を読み取り、適切に選択することが今後重要となってきている。さらに国語と算数において、記述式の問題において全国と比較しても無解答率が高いので、できそうな問題から取り組むなどの方策を執り行っていく。</p> <p>R4年度全国学力・学習状況調査の学校質問紙による調査では、「〇〇の勉強は好きですか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合は市、全国の平均を上回っている。他の項目においても埼玉県及び全国と比較しても肯定的な回答が上回っていた。特に「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の質問項目は、全員が「そう思う」と解答した課題がみられる項目については、朝会等で児童への呼びかけを行い、より一層、子ども主体の学びとなるよう、授業改善、意識改革に努める。</p>		

2月〇〇日			
さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

2月〇〇日		
成果指標に対する達成状況		評価(※)
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

3月〇〇日	
次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

※評価  
 A 8割以上(達成)      C 4割以上(あと一歩)  
 B 6割以上(概ね達成)      D 4割未満(不十分)